

2-1-1 教員の学位や業績

【経済経営学部】

現代経営学科	名前(読み)	倉田 知秋 (くらた ともあき)
	職 名	講師
	取得学位	修士(経済学)
	専門分野 研究領域	経済学、経済統計
	担当授業	マクロ経済学、経済数学入門Ⅰ・Ⅱ、コンピューターリテラシーⅠ・Ⅱ、資格検定対策Ⅴ (ICTスキル系)、統計学基礎
	研究業績	<p>【著書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (共著) 櫻本健、藤野裕、小澤康裕、一ノ瀬大輔、安藤道人、田浦元、倉田知秋『経済系のための情報活用2 Office2019対応』、実教出版、2020年10月。 2. (共著) 櫻本健、倉田知秋、小澤康裕、藤野裕、安藤道人、菊地進『経済系のための情報活用1 Office2019対応』、実教出版、2019年11月。 3. (共著) 菊地進、櫻本健、田浦元、長原徹、倉田知秋、藤原新、大塚勇一郎他『経済学における数量分析—利用と限界を考える—』、産業統計研究社、2008年3月。 <p>【論文】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 倉田知秋(2018)「負債デフレから見るフィッシャーの貨幣的景気循環理論」東京家政大学、『東京家政大学研究紀要』第58集(1), pp. 33-41. 2. 倉田知秋(2017)「愛媛県東温市における雇用の状況と求められる人材—平成28年(2016年)東温市事業所現状把握調査を利用した個票集計分析—」立教大学、『立教経済学研究』第72巻第1号, pp. 103-128. 3. 倉田知秋(2016)「フィッシャーの景気循環における貨幣市場の役割—負債デフレーション理論を中心に—」桜美林大学、『桜美林エコノミクス』第7号, pp. 21-31. 4. 倉田知秋(2016)「宇都宮都市圏における他市町村からの通勤移動実態」東京家政大学、『東京家政大学研究紀要』第56集(1), pp. 123-130. 5. 倉田知秋(2015)「松山都市圏における就業者の移動—他市町村からの通勤移動者の就業構造—」立教大学社会情報教育研究センター、『社会と統計』第1号, pp. 17-30. 6. 菊地進、小野寺剛、倉田知秋(2015)「統計情報の活用と統計教育」立教大学、『立教経済学研究』第68巻第3号, pp. 89-118. <p>【学会報告・報告書】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「産業連関表推計における供給表・使用表についての考察」経済統計学会、2022年1月。 2. 「2015年産業連関表とSUT移行に向けた動き」経済統計学会、2019年12月。 3. 「負債デフレから見るフィッシャーの景気循環論」ケインズ学会、2016年12月。 4. 「景気循環における負債と物価の役割」ケインズ学会、2013年10月。 5. (共著) 調査報告書『中小企業の熱意が田川を変えていく 2017年田川市中小企業振興基本調査』立教大学社会情報教育研究センター、2019年2月。
所属学会 学会活動	日本経済政策学会、日本経済学会、経済統計学会、ケインズ学会	
社会貢献		